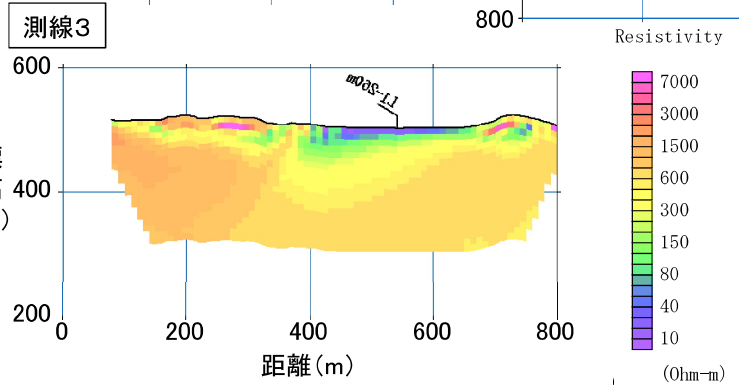
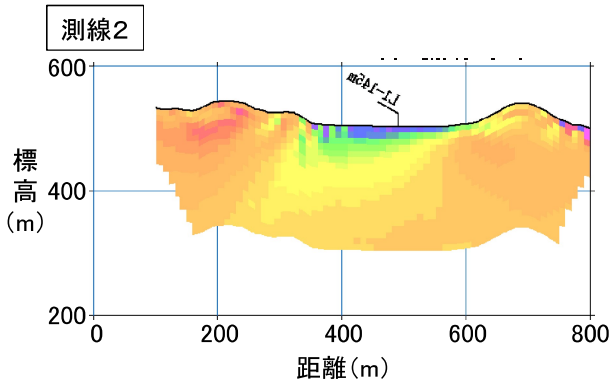
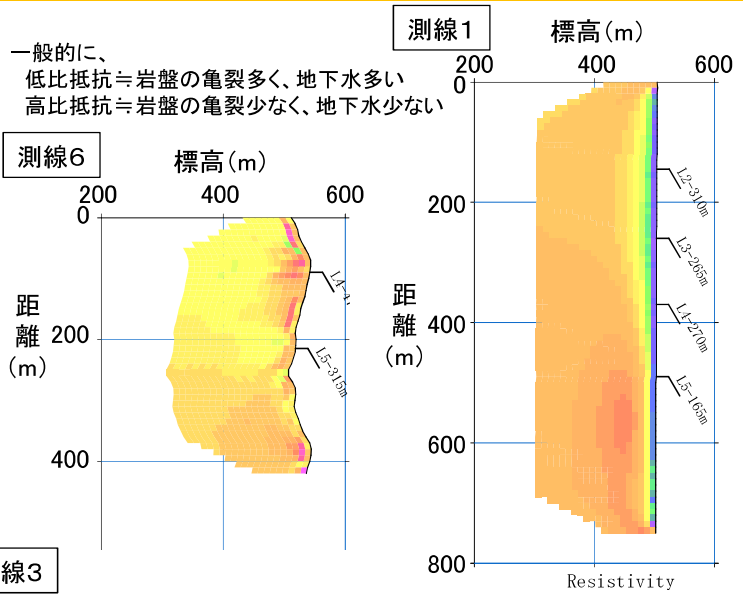
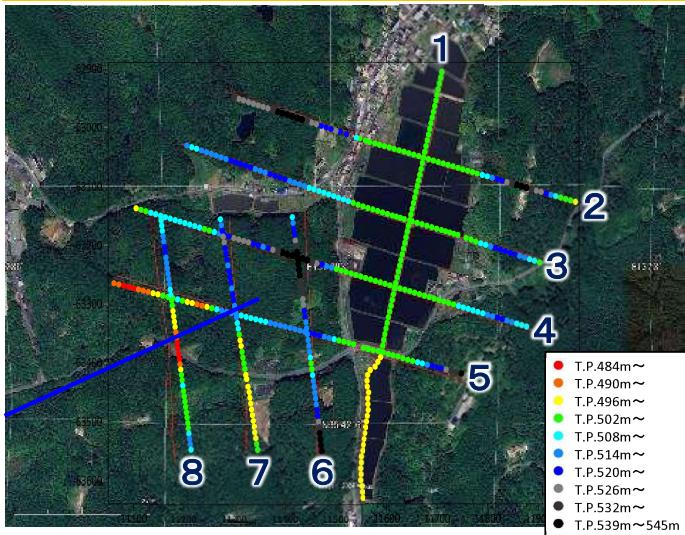


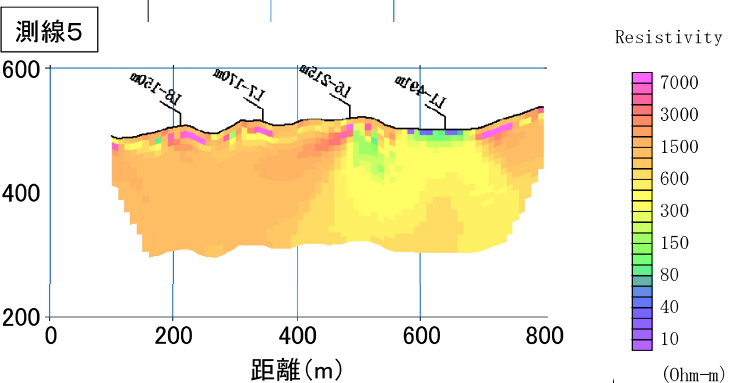
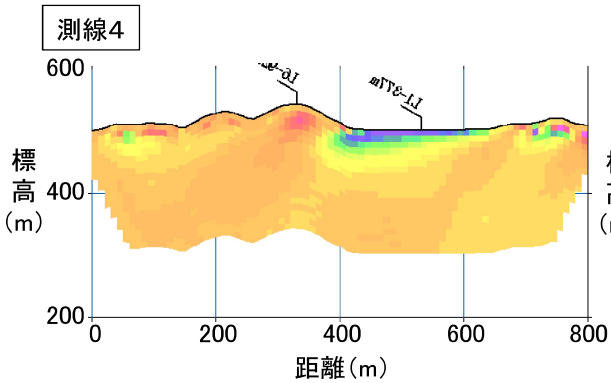
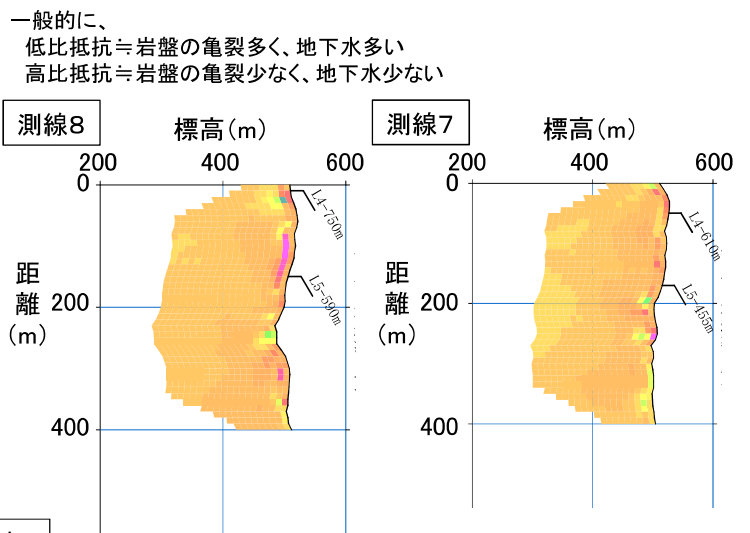
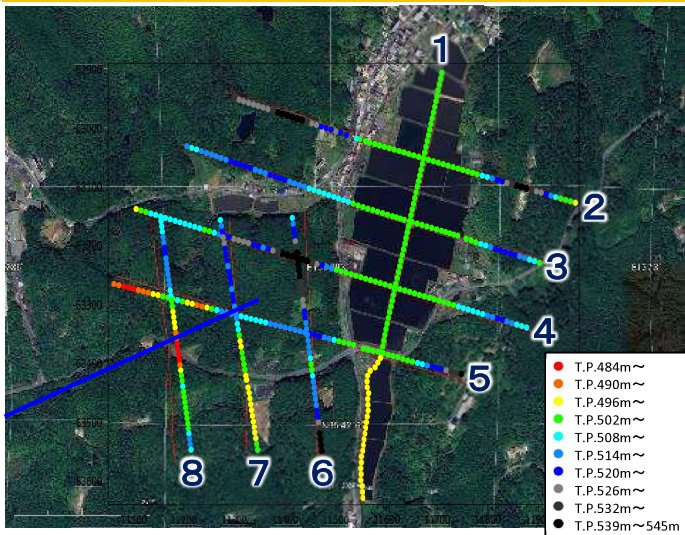
# 電気探査(速報)

※各測線の結果は、速報版で最終版ではありません。  
今後の解析作業により変化する可能性があります。



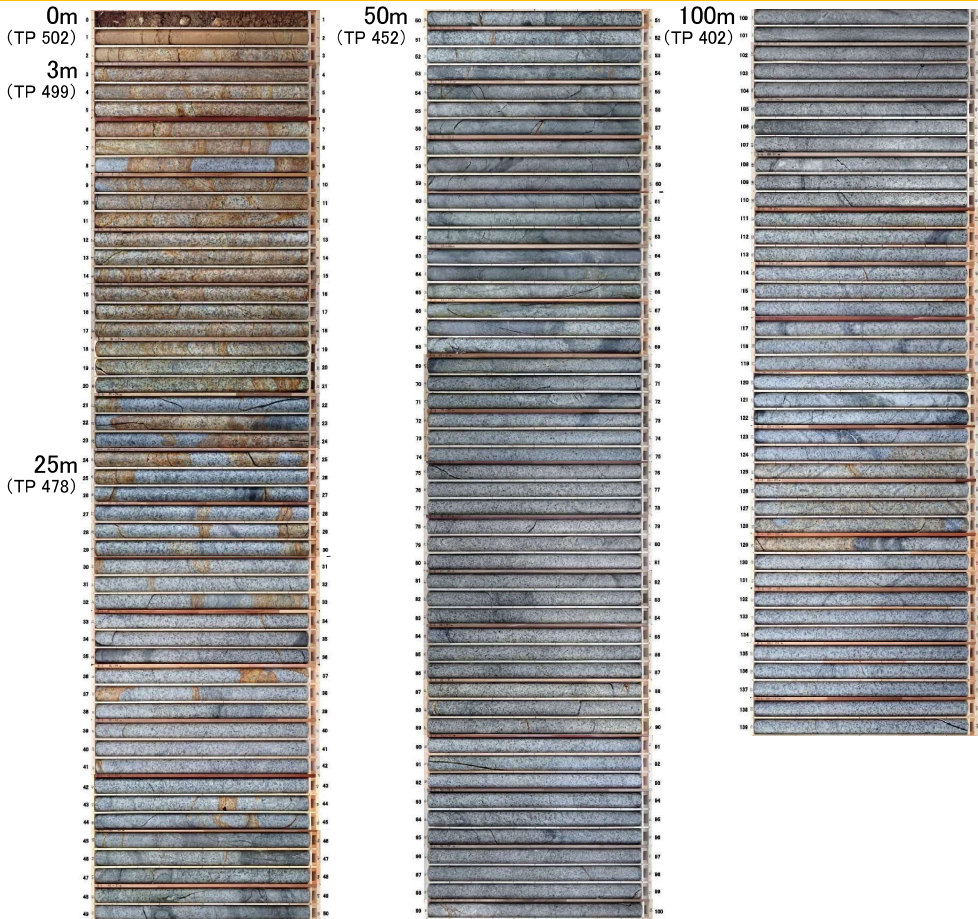
# 電気探査(速報)

※各測線の結果は、速報版で最終版ではありません。  
今後の解析作業により変化する可能性があります。

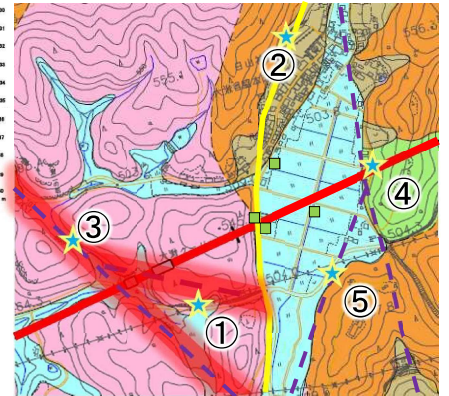




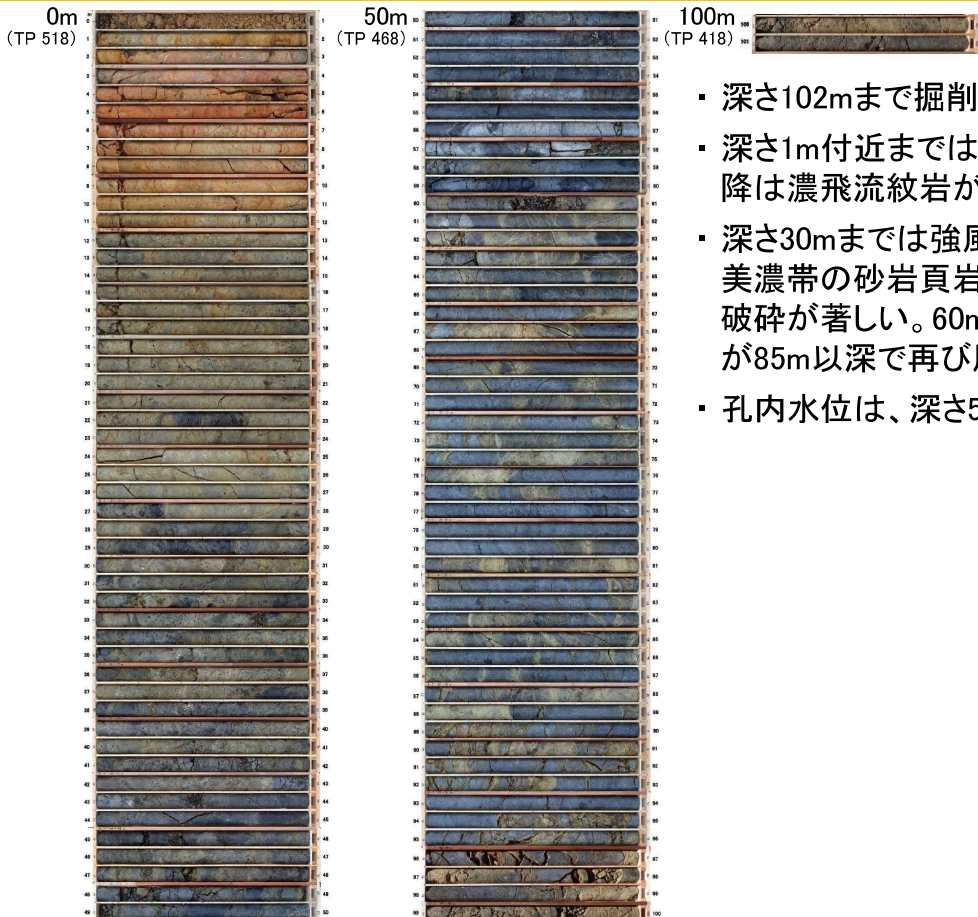
## 地質調査(ボーリング①)の進捗



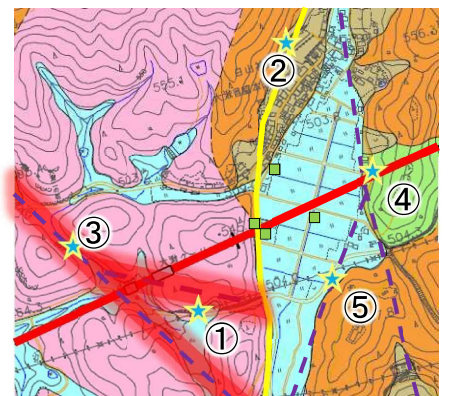
- 掘削完了：深さ140m
- 深さ3m付近までは未固結堆積物が続き、それ以降は花崗岩が続く。
- 深さ25m付近までは、全体的に風化している。深さ50m以深は未風化で亀裂が少ない。
- 孔掘削完了後の孔内水位は、深さ5m付近。



## 地質調査(ボーリング②)の進捗

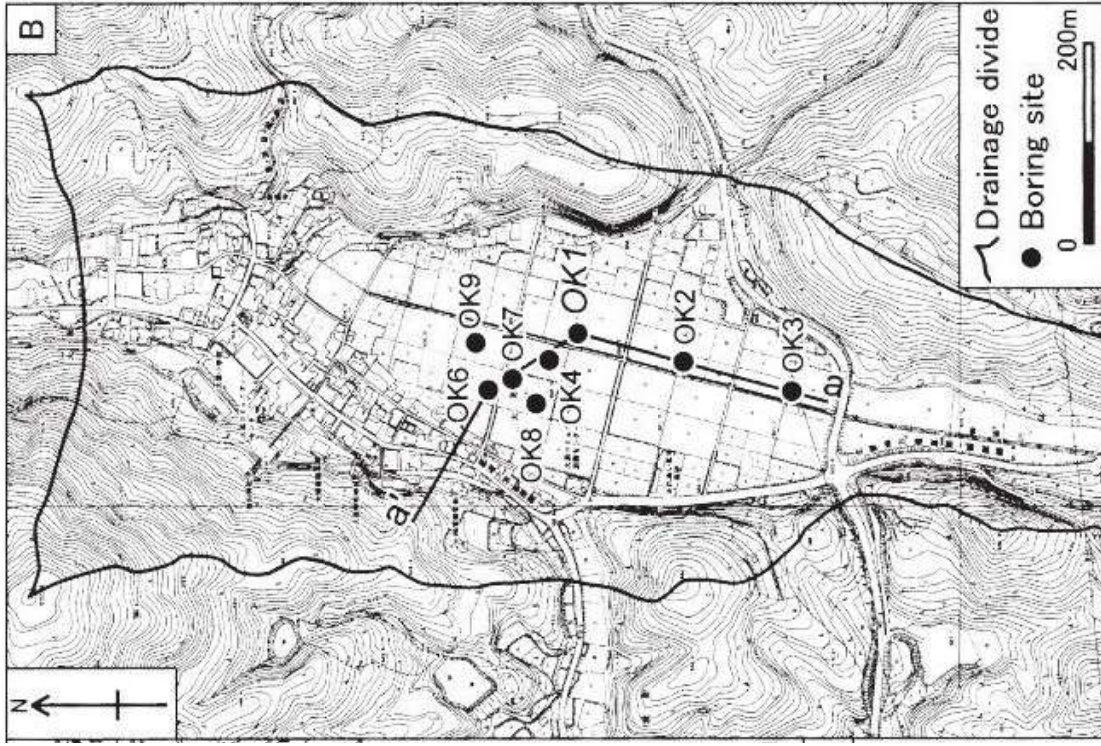


- 深さ102mまで掘削済。(11月15日時点)
- 深さ1m付近までは未固結堆積物が続き、それ以降は濃飛流紋岩が続く。
- 深さ30mまでは強風化、30mから60mにかけては美濃帯の砂岩頁岩チャートを所々に挟み風化や破碎が著しい。60mから85mは比較的堅硬であるが85m以深で再び風化や破碎が著しい。
- 孔内水位は、深さ50m付近を推移。





# 【参考】原子力機構によるボーリング調査



OK1の柱状図

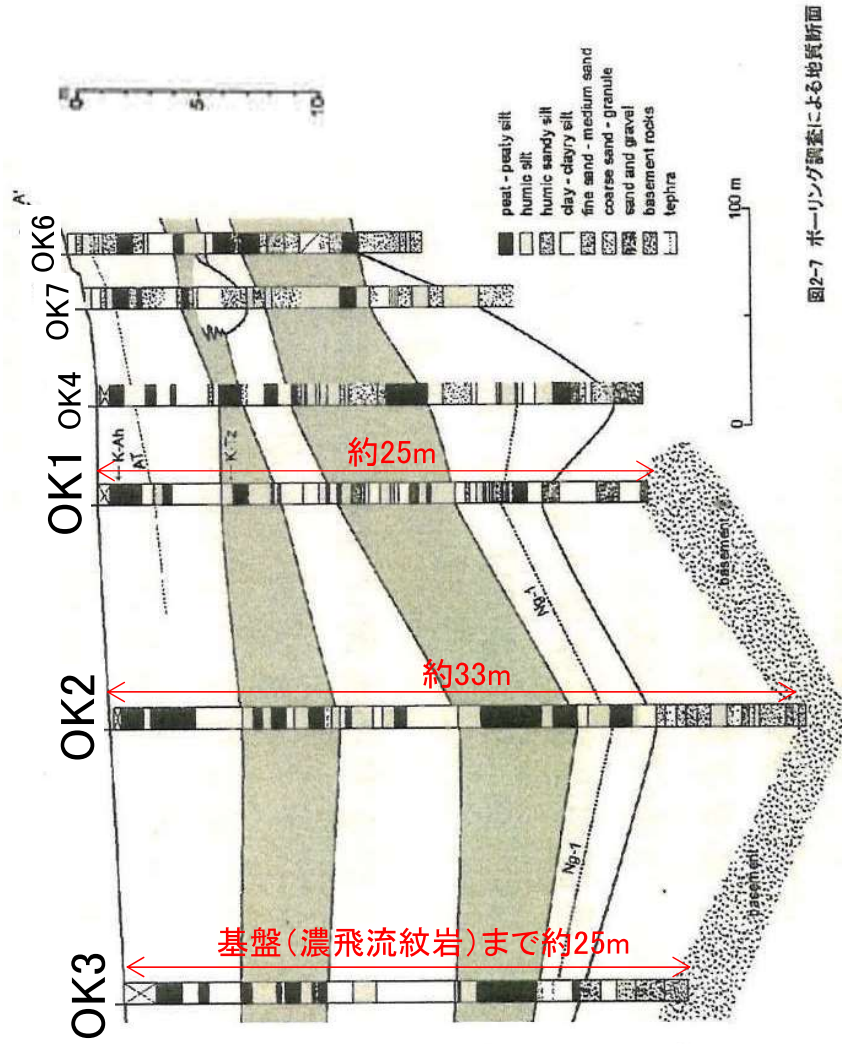
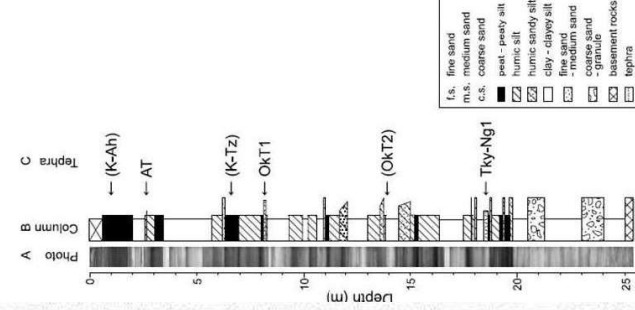


図2-7 ボーリング調査による地質断面

出典： 報告書番号 JNC TN7400 2005-026  
 地質環境の長期安定性に関する研究年度報告書 (平成16年度)